

2013年3月12日

「農業ビジネス」に参入

～4月1日から京王線狭間駅前の研究・開発用植物工場が稼働～

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：永田 正）では、人工光利用型植物工場および太陽光利用型植物工場を活用した農業ビジネスに参入します。

これは、今年京王の電車・バスが100周年を迎えることを記念し、新たな事業を創出するために社内公募した事業プランのなかから選ばれたものです。

当社では、農業ビジネスへの参入にあたり、「京王栽培研究所」と称する研究・開発用の植物工場を京王線狭間駅前（八王子市東浅川町）に建設し、高付加価値野菜や果物の研究・開発や販路を開拓し、2年後の事業化を目指します。

また、人工光利用型植物工場の光源には、昭和電工(株)製のLEDを用いて、高速栽培技術「Shigyo 法」(※)の供与を受けながら、蛍光灯を利用した植物工場に比べ出荷サイクルを短縮させ、収穫量が増加する栽培技術の研究を行う予定です。

なお、今回建設する植物工場は4月1日（月）から稼働する予定です。

概要は下記のとおりです。

※ 山口大学農学部の執行正義（しぎょうまさよし）教授と昭和電工(株)が共同開発した栽培技術で、昭和電工製のLED素子を用い、植物育成に最適な比率で赤色光と青色光を照射して、高速栽培を図る栽培技術です。



《京王栽培研究所（イメージ）》



《LED栽培の様子（イメージ）》

記

1. 研究施設概要

(1) 名称

京王栽培研究所

(2) 所在地

東京都八王子市東浅川町 708-5、709-2 (京王線狭間駅前)

(3) 敷地面積

約 372 m²

(4) 施設概要

①人工光利用型植物工場

(ア) 延床面積：約 171 m² (2 階建)

(イ) 栽培品目：レタス、ベビーリーフ等の葉菜類 (予定)

(ウ) 特徴：プレハブ内の完全閉鎖型の環境の中で、昭和電工製の LED、蛍光灯の人工光を活用して養液栽培を行い、安心・安全・高品質な野菜の開発を目指します。

(エ) 初収穫：2013 年 6 月中旬 (予定)

②太陽光利用型植物工場

(ア) 延床面積：約 94 m² (ガラスハウス 1 階建)

(イ) 栽培品目：トマト、いちご等の果菜類 (予定)

(ウ) 特徴：農業用のガラスハウスにおいて太陽光を利用した養液栽培を行い、安心・安全・高品質な野菜や果物の開発を目指します。

(エ) 初収穫：2013 年 7 月中旬 (予定)

※敷地内に①②を併設しています。

2. 稼働開始日

2013 年 4 月 1 日

3. お客様のお問い合わせ先

03-5369-2258 (京王電鉄(株)事業推進部 福沢・岩浅)

《参考》社内公募について

2013 年に京王の電車・バスが 100 周年を迎えるにあたり、新たな事業を創出するためのプロジェクト「Platinum Project 100」を発足しました。2010 年 4 月から、京王電鉄および京王グループ各社から事業プランを募り、274 件の応募がありました。2011 年 5 月、この中から収益性や実現可能性などを判断して、事業化に着手するプランを決定しました。今回の農業ビジネスへの参入はその一つです。

以 上